

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成26年 6月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時27分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 高橋英俊 二宮加寿子 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄 高橋富美子 土橋秀雄 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 二挺木政策総務部長 大槻総務課長 小林副主幹兼総務法制係長 加藤財政課長 吉川副課長兼管財係長 仲手川産業環境部長 和田消防長 三木消防署長 佐竹隊長代理兼副主幹 相田教育部長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の反省総括について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の5件について、お知らせを受けた。

①子育て世帯臨時特例給付金制度の周知について

5月26日に給付対象世帯にリーフレットを発送した。7月下旬に申請書を発送し、8月1日から受付を開始する。なお、「臨時福祉給付金」も同様のスケジュールで進めていく。

②平成26年度卓話集会の開催について

平成26年度卓話集会を「みんなで創る～地域の話・輪・和を目指して～」をテーマとし開催する。

③大磯海水浴場・照ヶ崎プール・国府小学校プールの開設について

夏季の期間、大磯海水浴場、照ヶ崎プール、国府小学校プールを開設する。海水浴場については7月6日に海開き式を行う。当日、海水浴場開設130年目の記念事業として「大磯ビーチアクアスロン大会」を開催する。さらに、大磯迎賓館において「海水浴場のあゆみを紹介するパネル展」も開催する。

④国際姉妹都市との交流について

7月22日から12日間、13年振りにデイトン市の高校生が来訪する。7月24日には歓迎会を行う。

また、国際姉妹都市のラシン市へ7月24日から2週間、町内在住の高校生を2名派遣する。

⑤第26回なぎさの祭典「夏！！大磯！！祭！！」について

第26回なぎさの祭典を7月26日に実施する。メインアーティストに岩崎良美さん、石川ひとみさんを迎え、コンサート終了後には約1,000発の花火を打ち上げる。荒天の場合は花火大会のみ8月2日（土）に行う。

◎主な質疑

問： 大磯迎賓館でのパネル展は、町側の要請によるものか。

答： 町から要請した。

問： 町民に大磯迎賓館の空間を共有・享受してもらう考えが必要だと思う。今回の展示を契機にもっと自由に入れるようにしてほしい。

答： 今まであまり使われていなかったこともあり、観光協会へ投げ掛け現在展示を行っている。町民や観光客にアピールできればと考える。

問： 本来、行政で対応すべきところをサーファー達が重機を用い北浜海岸の整備をしている。町は海水浴場開設130年目の記念行事に間に合わせる為、行政としてどのような体制で行っていく考えか。

答： 町の重機を貸し燃料費も負担している。今後、海水浴場開設までに何処までできるかサーフィン協会と話し合っていく。

意： 海水浴場が安全安心の中で海開きを向かえることができるようにしてほしい。

問： なぜ、ボランティアが海岸整備を行っているのか。事故が起きた場合誰が責任を取るのか。県に整備させるべきであり、県が行わないのであれば町で行うべきだ。

答： 県は一時の状況と判断しており、現状を見て直ちに大規模な資機材を投入する考えはないと聞いている。

海岸整備は、自分たちのサーフィンポイントを復元したいという思いでサーフィン協会の方々が自分たちの意思で行っている。

今後、海水浴場として開設する部分もあることから、重機の燃料費を町で負担している。

## (2) 町報告事項

### ①救急救命士の処置範囲拡大について

救急救命士法施行規則の一部を改正する省令が施行されたことに伴う救急救命士の処置範囲拡大について説明があった。

### ◎主な質疑

問： 救急救命士 11 名の内、現時点での資格取得者は 4 名と理解してよいか。

答： 4 名である。今後も引き続き講習を受講させていく。

問： 4 名で対応が可能なのか。

答： 消防署と国府分署に救急隊が 2 隊ある。まずは協力しながら対応していく。

問： 広報等による周知により、町民は常に消防署が対応できると理解すると思う。掲載方法を考慮すべきだ。

答： 町民への周知方法は検討する。

### ②平成 25 年度大磯町土地開発公社決算諸表について

資料に基づき、事業概要、総務概要、事業実施状況、財産目録、損益計算書、賃借対照表、公有用地明細表、大磯町土地開発公社財務諸表等（監査結果）について説明があった。

### ◎主な質疑

問： 大磯駅前自転車駐車場用地について、記載はないのか。

答： 公有用地処分状況に記載している。

問： 公有用地明細表について、取得日の記載がある資料はないのか。

答： 配布資料に記載はないが、内部資料としてある。

意： 取得日は議会が知るべき情報だと考える。資料を追加で提出してほしい。

問： 公有用地処分状況において、2 事業の単価を説明してほしい。

答： 月京 8 号線用地は平成 14 年に、大磯駅前自転車駐車場用地は平成 24 年に公社が先行取得した。平地は単価を高くし平成 25 年に町に買い替えを行った。

単価は、不動産鑑定士に鑑定してもらい、町内部の不動産評価委員会にかけ適正な単価で購入している。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○6/10 議会運営委員会の概要・・・吉川委員長  
(提出予定議案の追加)

○総務建設常任委員会の概要・・・渡辺委員長  
5/20・6/13(協議会勉強会)(自然エネルギーの条例制定に向けた取り組み)

○福祉文教常任委員会の概要・・・高橋(富)委員長  
5/21(協議会)(子ども・子育て支援事業計画策定に向けた利用ニーズ調査の調査結果・事業計画概要)  
(協議会勉強会)(子ども・子育て支援新制度について)

6/5(委員会)(陳情第3号・4号審査)

○5/26 議会だより編集委員会の概要・・・坂田委員長  
(前号反省・次号編集日程及び紙面構成検討・広報研修への参加)

②監査委員からの報告・・・竹内監査委員

③農業委員からの報告・・・二宮委員・坂田委員

④5/23 県町村議会議長会委員長・副委員長研修会・・・坂田議員  
(研修内容:「議会改革」片山善博慶應義塾大学法学部教授)

⑤5/27 全国町村議会議長会正副議長研修会・・・奥津議長  
(基調講演:「住民と歩む地方議会」江藤俊昭山梨学院大学法学部教授シンポジウム:「これからの町村議会のあり方」パネリストとして奥津議長が参加)

⑥5/30 県町村議会議長会5月役員会・第1回臨時総会・・・奥津議長

⑦その他

なし

(5) 協議事項

①議会報告会の反省総括について

当日町民の方からいただいた質問について、回答が完結したもの、議会で調査研究していくもの、町へ申し送るものを振り分けた。

今後の議会報告会の在り方について、次のような意見があった。

◎主な意見

○議会報告会を見据え議会だよりを作成したほうがよい。

○パワーポイントを用いるなど報告の仕方を考えるべきではないか。

○前回報告の結果については資料配布のみとし、その時間を意見交換に充てたほうがよいのではないか。

○ざっくばらんに話し合いができるような交流の場を設けてみてはどう

か。

- 全議員が報告で座っているが、全議員ではなく担当班のみ前に座ってみてはどうか。
- 保健センターは、入って正面に座るのではなく、席の配置を横向きにするなど、会場の配置方法を考えたほうがよい。
- 意見等に対する回答はできるだけ早くすべきではないか。
- 記録はすべて記載すべきである。

②その他

三澤議員より「集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書」を提出する旨の申出に対する説明があった。

なお、意見書については、今回から事務手続きの明確化を図るため、議会運営委員会を開催し、提出予定意見書案について取り扱いの協議をすることとした。

(6) 事務局からの報告

①視察来庁について

7月2日(水)に愛知県大口町議会が議会基本条例策定について、7月9日(水)に熊本県あさぎり町議会が議会だよりについて、7月18日(金)に宮城県涌谷町議会が行政評価について視察するために来庁する。

②その他

事務局より、早稲田大学マニフェスト研究所が行った議会改革度調査2013 ランキングについての報告を行った。